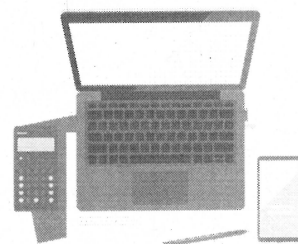


- (5) 家庭学習（ICT を活用した時間も含む）の習慣がついている児童は、全国平均に比べてやや少なく、学習時間も短い。

3. 改善への取組

- (1) 「学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりできている」と答えた児童が、全国平均程度となり、主体的・対話的で深い学びに向けた授業を積み上げていることを児童自身が実感している。引き続き、『協同的探究学習』の手法（自分の考えをまとめた上で、友達と意見交換し、さらに自分の考えを深めていく）に沿った授業を推進していく。

- ・ 多様な考えが可能な課題を提示し、学習を深める工夫をする。
- ・ 授業において、自分の考えを発表や記述する機会をより多く確保する。
- ・ 思考の過程やまとめを主語と述語の関係に気をつけ、根拠を示し、自分の言葉で表現することを指導する。



- (2) さらに ICT 等を活用した授業実践を行い、児童の ICT 活用能力向上と基礎学力（言語事項も含む）の定着をめざす。

- (3) 昨年度から取り入れている『音読タイム』の時間を拡充し、さらに「読むこと」に親しみ、「読むこと」の楽しさを味わわせて、「ことばの力」の育成、読書習慣の醸成につなげる。

- (4) 道徳の時間や特別活動（行事・学級活動）を中心に、自他の違いを認め、互いを思いやる心情を養う。

- (5) 「学級生活をより良くするために学級会で話し合い、お互いの良さを生かして解決方法を決めている」と答えた児童が、85%をこえ、全国平均を大きく上回った。これからも、集団（社会）の一員として様々な問題を自分ごととして捉え、互いの意見をすり合わせながら、より良い解決方法を考えようとする姿勢を育む。

